

公共施設のあり方に関する町民アンケート
調査結果

美里町
平成28年12月

I. 調査概要

1. 調査目的

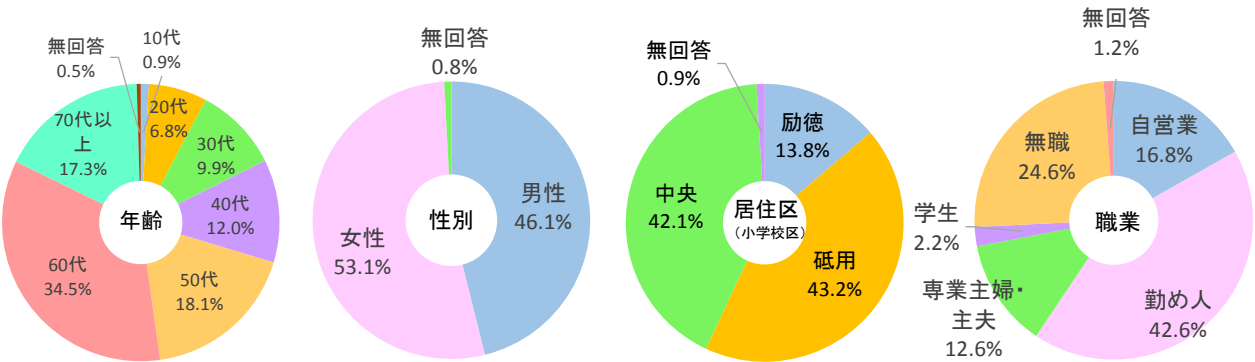
長期的な視点をもった公共施設等の効率的・計画的な管理・活用に取り組むための基本的な考え方を定める「美里町公共施設等マネジメント計画」の策定に向け、町民の声や意見を反映させた、より実効性のある計画となるよう、今後の公共施設のあり方に関する町民意識や、公共施設の利用実態等を把握するために実施した。

2. 調査概要

- ①調査内容
- 公共施設の利用状況、公共施設を取り巻く現状と課題、今後の公共施設のあり方などについて
- ②調査対象
- 平成 28 年 4 月時点において、町内在住の満 18 歳以上の町民
- ③対象者数
- 町民 2,000 人（居住地を考慮し、無作為に抽出）
- 【年齢別・校区別・性別対象者一覧】

年齢	中央小校区		砥用小校区		励徳小校区		総計
	男	女	男	女	男	女	
10歳代（18・19歳）	3	14	6	10	1	3	37
20歳代（20歳～29歳）	43	36	43	36	16	12	186
30歳代（30歳～39歳）	67	59	60	40	23	11	260
40歳代（40歳～49歳）	66	58	54	56	12	16	262
50歳代（50歳～59歳）	89	66	112	98	24	30	419
60歳代（60歳～69歳）	124	118	119	117	46	40	564
70歳以上	36	63	47	77	27	22	272
校区別小計	428	414	441	434	149	134	2,000
	842		875		283		

- ④調査手法
- アンケート調査票を対象町民に郵送・回収
- ⑤実施時期
- 平成 28 年 6 月 6 日 ～ 平成 28 年 6 月 24 日
- ⑥有効回答数
- 850 人（回答率 42.5%）
- 【回答者構成】



Ⅱ. 町民アンケート調査結果

1. アンケート結果

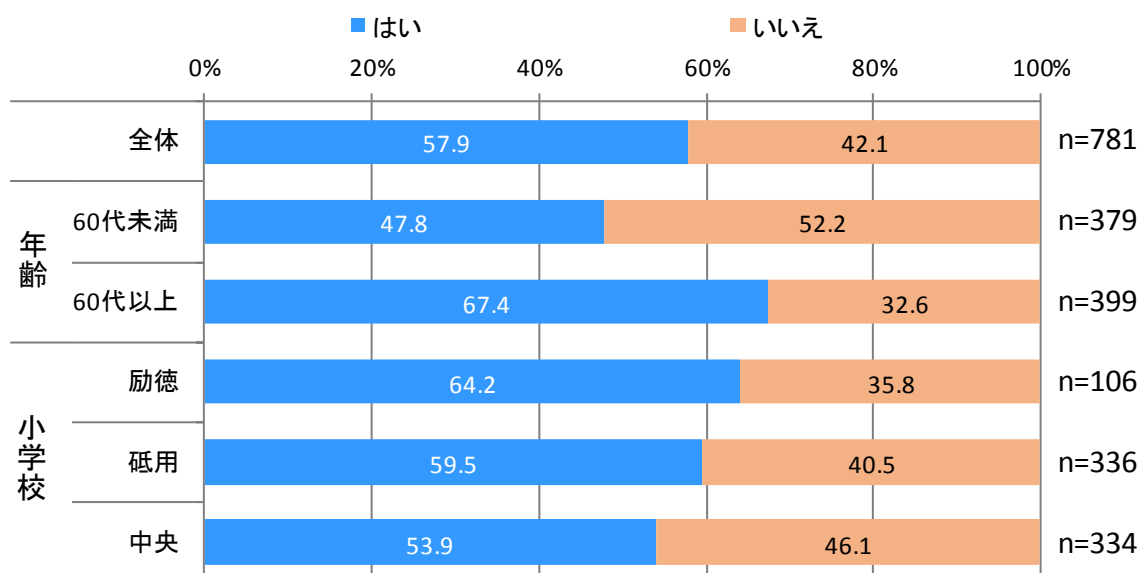
①公共施設の更新問題に対する認知度

問5 公共施設の更新問題（老朽化への対応と維持に対して多くの費用がかかること）に直面していることをご存知でしたか。（1つに○）

公共施設の更新問題に対する認知については、全体では「はい」が57.9%、「いいえ」が42.1%となっている。

年齢別でみると、60代未満よりも60代以上の認知度が高い結果となっている。

小学校区別でみると、いずれも5割を超えており、特に励徳は6割を超え、砥用においては、6割近くと認知度が高い結果となっている。

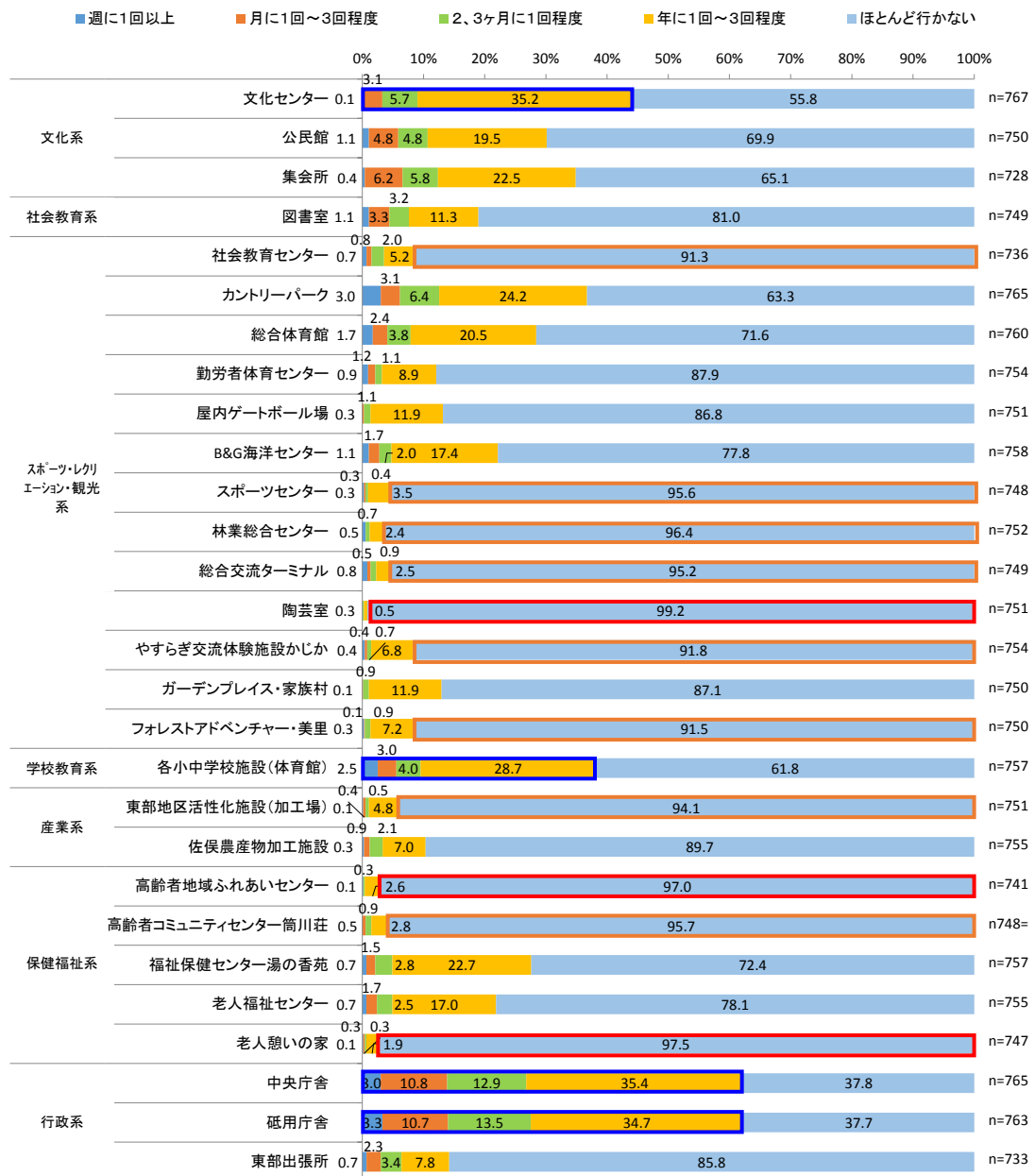


②公共施設の利用頻度

問6 本町が設置している公共施設には次のようなものがあります。あなたは過去1年間に施設をどの程度利用しましたか。利用回数が近いものを選んで、表の中の当てはまるところに1つ○をつけてください。

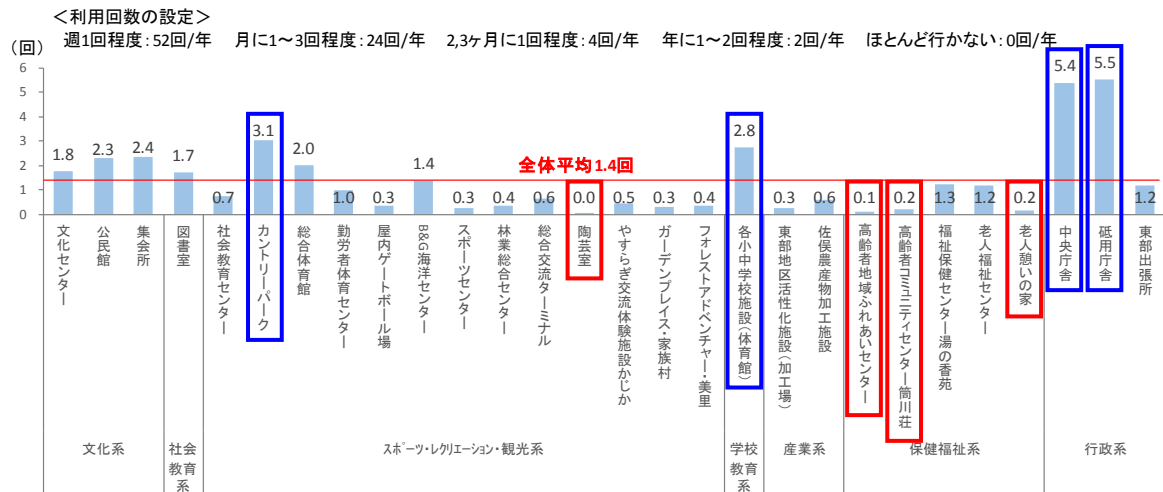
過去1年間での公共施設の利用回数について、全体では、1回以上利用した人の数は「砥用庁舎（62.3%）」および「中央庁舎（62.2%）」が最も多く、次いで「文化交流センターひびき（44.2%）」「各小中学校施設（体育館）（38.2%）」の順となっている。

また、「ほとんど行かない」の回答が多かった施設については、「陶芸室（99.2%）」が最も多く、次いで「老人憩いの家（97.5%）」「高齢者地域ふれあいセンター（97.0%）」の順となっており、それ以外にも「社会教育センター」「スポーツセンター」「林業総合センター」「総合交流ターミナル」「やすらぎ交流体験施設かじか」「フォレストアドベンチャー・美里」「東部地区活性化施設（加工場）」「高齢者コミュニティセンター筒川荘」が9割を超えている。



施設の利用回数について、週に1回以上を年間52回、月に1～3回程度を年間24回、2,3カ月に1回程度を年間4回、年に1～2回程度を年間2回、ほとんど行かないを年間0回とそれぞれ仮定して、一人当たりの施設の年間利用回数を算出した。

全体の平均は1.4回で、利用の多いのが「砥用庁舎」5.5回および「中央庁舎」5.4回、次いで「カントリーパーク」3.1回、「各小中学校施設（体育館）」2.8回との順になっている。利用の少ないのは、「陶芸室」0.0回、次いで「高齢者地域ふれあいセンター」0.1回、「高齢者コミュニティセンター筒川荘」および「老人憩いの家」の0.2回となっている。



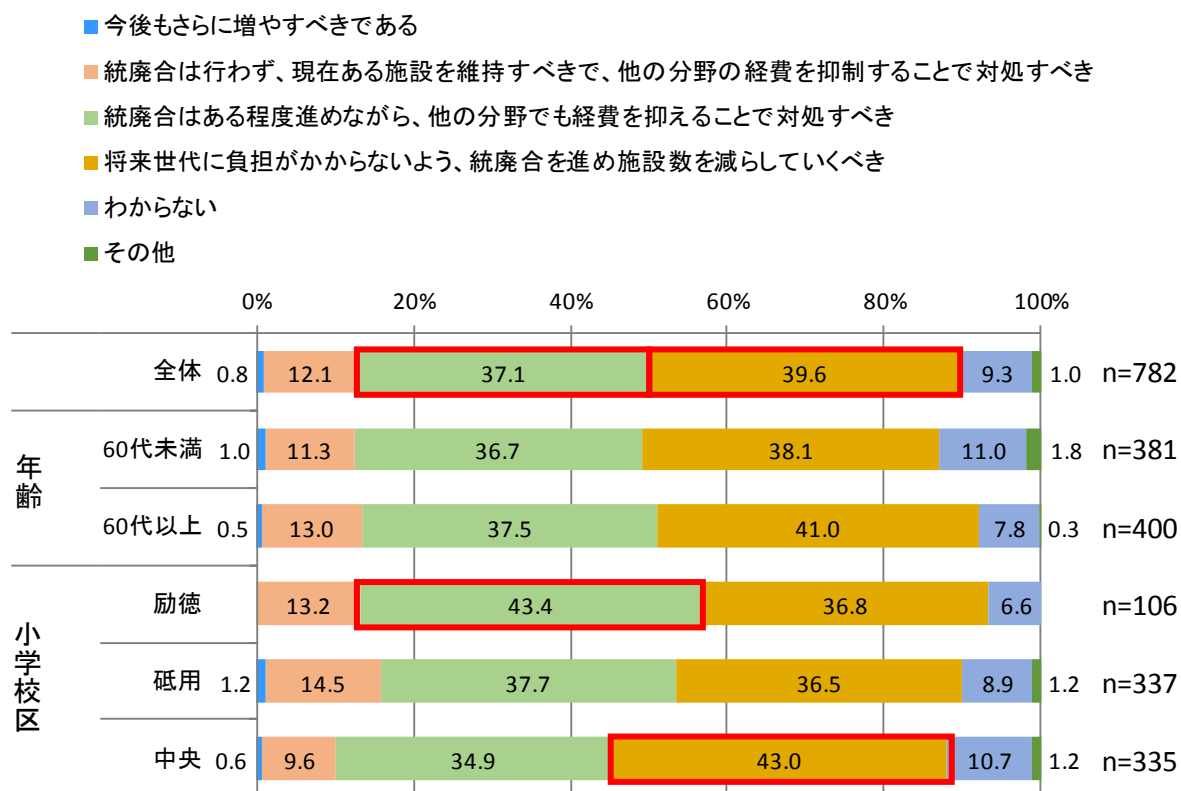
③今後の施設量に対する方向

問7 公共施設の老朽化に伴い、建替えや維持管理に必要な経費が増えていくことが見込まれますが、今後の公共施設はどうあるべきと思われますか。あなたの考えに近いもの1つに○をつけてください。「その他」の場合は自由に記載してください。

今後の公共施設の量については、全体では「将来世代に負担がかからないよう、統廃合を進め施設数を減らしていくべき」が39.6%、次いで「統廃合はある程度進めながら、他の分野でも経費を抑えることで対処すべき」が37.1%となっている。

年齢別でみると、60代未満、60代以上のいずれも全体と同様の傾向となった。

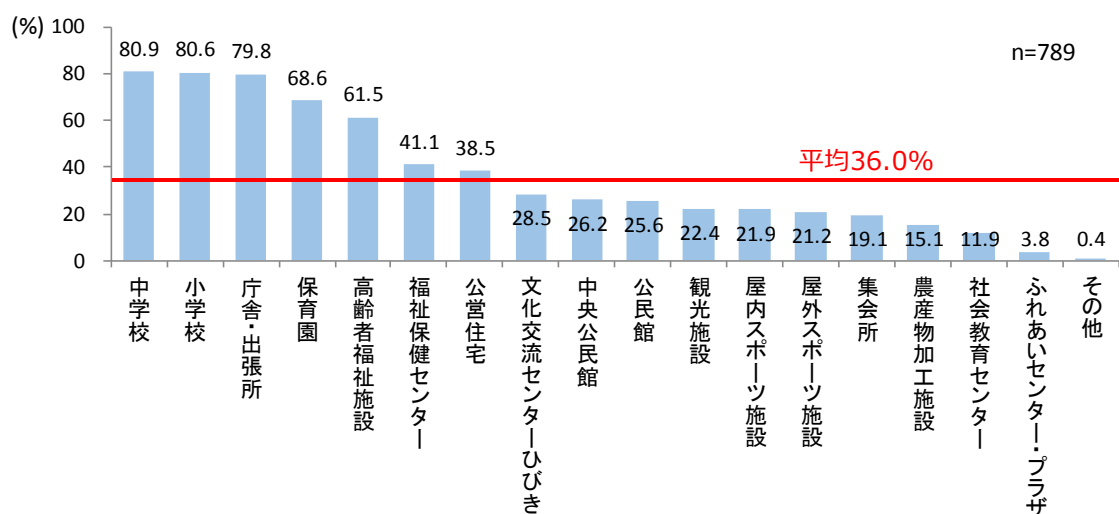
小学校区別でみると、いずれの校区でも上位2つは全体と同じであるが、励徳では「統廃合はある程度進めながら、他の分野でも経費を抑えることで対処すべき」（43.4%）が平均を大きく上回っている。中央では「将来世代に負担がかからないよう、統廃合を進め施設数を減らしていくべき」（43.0%）が平均を大きく上回っている。



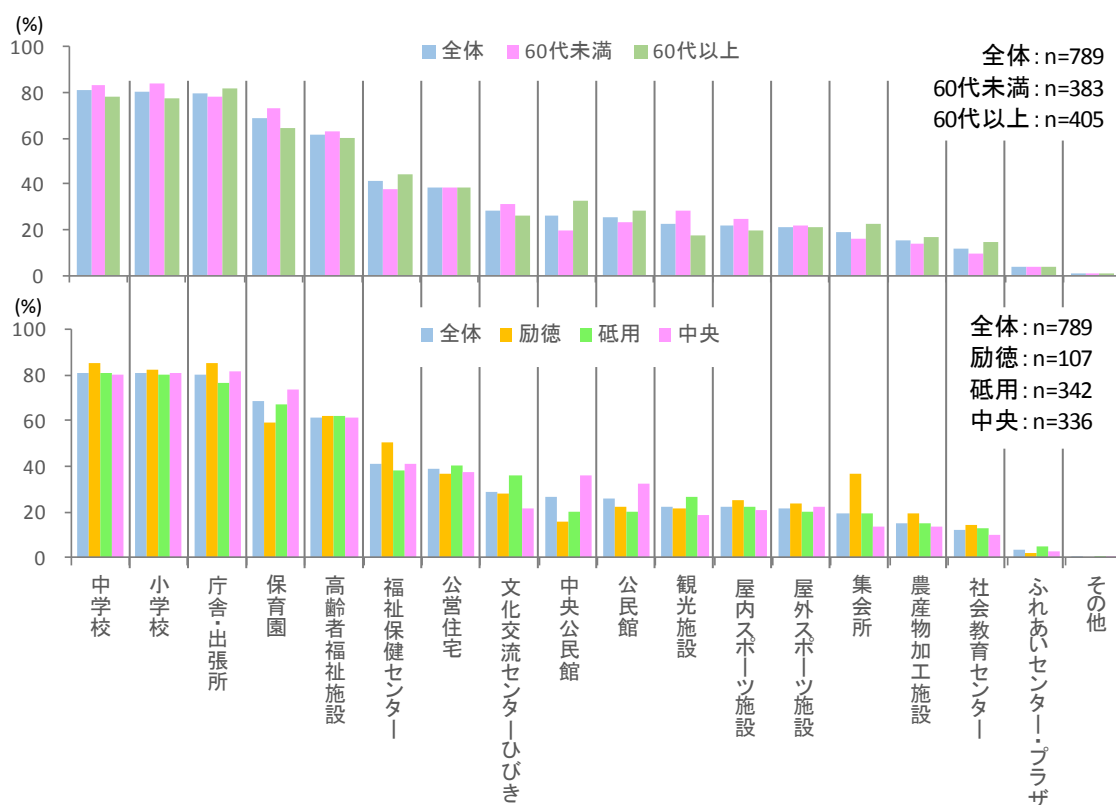
④優先的に維持すべき施設

問8 今ある施設を全て維持できなくなった場合、町が将来にわたり優先的に維持すべきと思う施設（サービス）は何だと思われますか。あてはまるものをすべて選んでください。（複数回答可）

全体では「中学校」が80.9%で最も多く、次いで「小学校」（80.6%）、「庁舎・出張所」（79.8%）の順となっている。ふれあいセンター・プラザ、社会教育センター、農産物加工施設、集会所、屋外および屋内スポーツ施設などの優先性は低い結果となっている。



年齢別、小学校区別ともに、概ね全体と同様の傾向を示している。



⑤削減してもいい施設

問9 公共施設にかかる経費を縮減するために、公共施設の総量（施設数）を減らしていかなければならなかった場合、どのような施設から削減していけば良いと思いますか。削減しても良いと考える施設をすべて選んでください。（複数回答可）

全体では「利用度や稼働率が低い施設（あまり利用されていない施設）」が84.7%で最も多く、次いで「同じような施設や代わりに使用できる施設が近隣にある施設」59.1%、「老朽化が著しい施設」58.5%となっている。

年齢別でみると、概ね全体と同じ傾向を示しているが、60代以上では「運営経費の高い施設」への回答が60代未満に比べ、20ポイントほど多い。

小学校区別でみると、全体と同様の傾向であるが、励徳が「同じような施設や代わりに使用できる施設が近隣にある施設」72.0%で他の小学校区を大きく上回っている。



⑥見直しによって期待される効果

問 10 公共施設の見直し（再配置や、運営方法・コストの見直し等）によって、生まれる効果にあなたは何を期待しますか？あてはまるものをすべて選んでください。（複数回答可）

全体では「町の財政負担の軽減」（56.7%）、「身の丈にあった公共施設量の維持」（52.0%）、「安全で快適な施設の提供（耐震性や防災性等の向上）」（50.6%）への回答が上位を占めた。

年齢別では、いずれも概ね全体と同様の傾向を示しているが、60代以上では「身の丈にあった公共施設量の維持」および「町の財政負担の軽減」への回答が60代未満を大きく上回っている。

小学校区別でも、全体と同様の傾向であるが、励徳において「利用者の視点にたった施設運営（地域移譲、民間活用など）」（50.0%）が他校区を大きく上回っている。



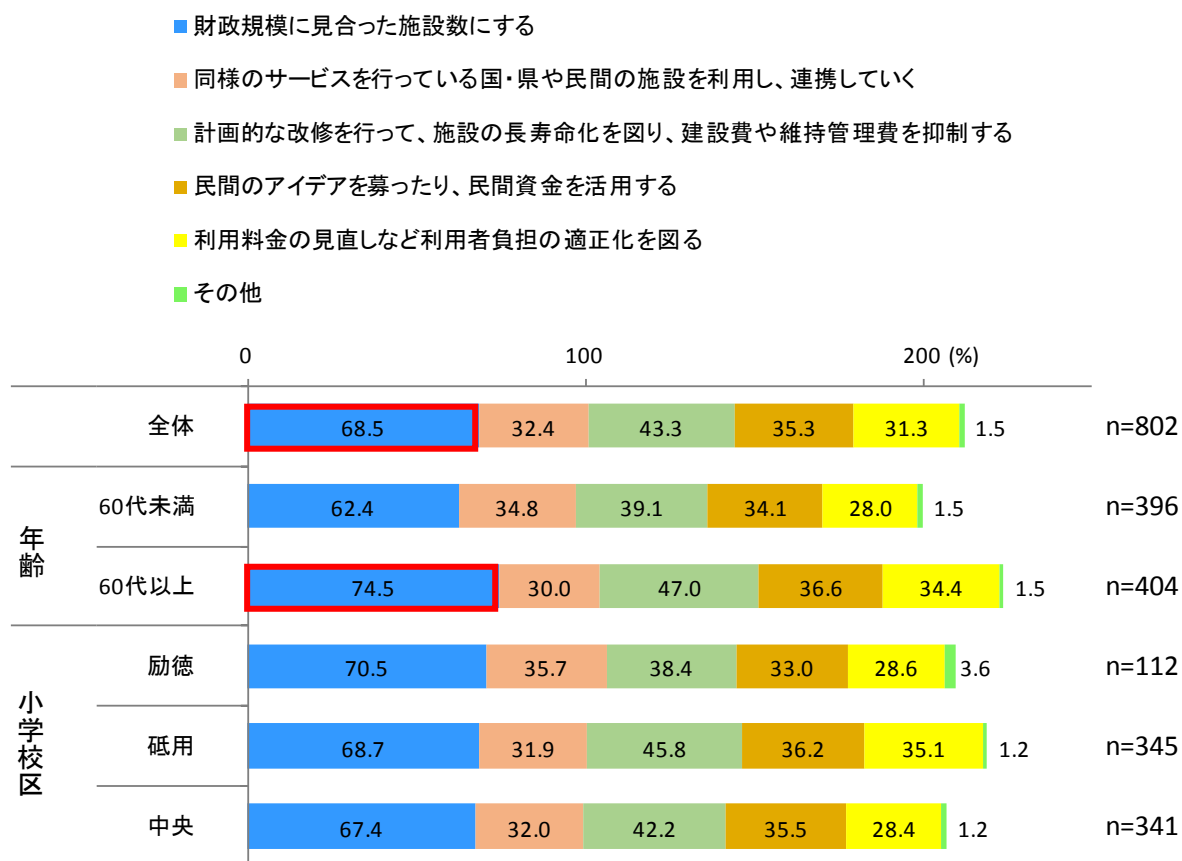
⑦今後の建替え・維持管理の対応策

問 11 今後、生産年齢人口（15～64 歳人口）の減少による税収減により、財政状況がより厳しくなることが見込まれます。公共施設の建替えや維持管理に必要な財源が不足する場合、あなたはどのように対応すべきと思われますか。あてはまるものをすべて選んでください。「その他」の場合は自由に記載してください。（複数回答可）

全体では「財政規模に見合った施設数にする」68.5%が最も多く、次いで「計画的な改修を行って、施設の長寿命化を図り、建設費や維持管理費を抑制する」が43.3%となっている。

年齢別では、全体と同様の傾向を示しているものの、60代以上では「財政規模に見合った施設数にする」が60代未満より回答が多い。

小学校区別は、全体と同様の傾向を示している。



⑧自由回答

問 12 本町の公共施設のあり方（保有すべき量、統廃合、安全性や耐震性、使いやすさ、維持管理など）について、アイデアや提言がございましたら、自由にお書きください。

項 目	意 見
量（削減・増加）に関して	【削減】 ・老朽化した施設、稼働率の低い施設は思い切って削減した方が良い。 ・<u>小中学校の統合とへき地保育所の廃止は必要</u>だと思う。 ・スポーツ施設などの利用の少ない施設は減らしていくべき。 ・改修を行うことなどせず<u>財政規模に見合う施設数にしてい</u>くべき。 ・<u>文化系、レクレーション、観光系の施設は旧砥用地区に集中しているため、旧中央地区の住民にとっては極めて利便性が低い</u>。各施設の利用状況、稼働率を公開し、費用対効果が期待できない施設は町財政のために廃止すべきである。 ・砥用庁舎は維持管理費上不要であり、旧砥用地区住民用としては出張所規模の建物を新たに作れば対応可能と考える。 ・維持費のかかるのは廃止していくべき。 ・出張所は閉鎖すべき。 ・利用の少ない施設は廃止する。 ・勤労者体育センターは売却か解体して宅地にすべきだと思う。 ・今ある施設でよい。正直、高齢者ふれあいセンターや社会教育センターなど使用しないので、目的や年齢層も分からず、後々必要になるかもしれませんが、今は必要とはいえない。 【統廃合・複合化】 ・保有すべきか統廃合など考えるべき。ほとんど利用しない。 ・小、中の統合の話を耳にするが、<u>小、中一貫統合の教育</u>はどうか？建物のデザインや外見等を気にせず、安全性、耐震性に強い建替えを行ってほしい。（素朴でいい） ・文化交流センターひびきと中央公民館の図書館を統合して、中央と砥用の間位に図書館を建てればいいと思う。 ・生徒数も減少しているので、早急に統合の検討をしてほしい。 ・文化交流センターひびきは必要だったのか？将来中学校が統合されるようになれば、体育館をより多目的に使えるようにし、そこで成人式などもできると思います。削減と必要性のバランスを考え（震災時に空地などは大変役立った）、将来を見すえていくべきと考える。 ・施設の中で設備や機能などが似ている施設は、利用が多い方を残し、どうしてもというときは<u>利用が少ない方を廃止していくことも必要</u>だと思う。 ・合併後の美里町としての将来の方向性を見据えた再配置や統廃合を進めるべきである。 ・箱物が私の地区にはかなり多いため、統廃合を行ない、施設の安全性、老朽化を重点的に改善した方が良くと思う。<u>図書館は統合し内容の充実を図る</u>。そこを拠点に、各地区二週間に一度の割合で巡回移動図書館を走らせるようにしたらどうか。<u>町役場の統合を行うべき。中央公民館は文化交流センターひびきと統合させる。</u> ・施設を<u>集約化して、災害時、拠点施設になれるような、統合的な施設を整備</u>してほしい。例えば、体育施設に、文科系の図書室を併室したり、シャワー施設や調理施設を含めたいと思う。小中学校を災害時の一次避難場所にするのはいいかもしれないが、今回の災害のように避難が長期化すると教育関係（子ども達への）への影響が大きくなると思う。縮小や統合しても、高齢者や子ども達が利用しやすい場所にしてほしい。 ・小中学校の一貫を進め、施設の維持管理費や人件費を抑え、更に指定管理者制度を利用

項 目	意 見
	し民間に運営をまかせる事も必要ではないか。 ・<u>旧中央町と旧砥用町とで重複する施設の合併、または他の施設へ変更し、組織の見直し等無駄を無くすべきである。</u> ・砥用地区の小学校も１つに統合し、中学校も将来的には１つに統合するべき。 ・目的が同じ施設は町に１つでよい。 ・小中学校の統廃合問題については、早いうちに検討していくべきである。残していく場合も複合化できないか協議するべき。 ・同じ校区内に似たような施設があったら、老朽化している方を廃止し、残っている施設の方に安全性や耐震性など強化した方がいいと思う。 ・多目的に利用できる施設に統廃合すべきである。 ・町の公共施設に対してどれだけの維持費がかかっているか、具体的な数字で公表し、町民の理解を得たうえで減らしていくべき。中学校を１校にし、中央中の校舍等は合宿などの誘致を行ってはどうか（体育館もあるのだ）。 ・<u>重複する公共施設は思い切って統廃合し、安全で快適な施設に建て替える</u>べき。 ・旧砥用地区の公共施設の集約を早急に取り組むべきだと思う。 ・<u>スポーツ施設は何箇所もあり、それを１つか２つに統合してしまうといいのかな</u>と思う。 【町庁舎】 ・<u>庁舎を１箇所に統合するべき。</u> ・合併して１２年も経っているのになぜもっと早く見直しをしてこなかったのか。まずは庁舎を１つにしてそのコスト削減から始めるべき。 【アイデア含む、その他の意見】 ・子供が育っていく過程において必要と思われる施設の維持を優先するべき。 ・安全性のあるものを残していくべきであると思う。 ・子供達数は減っても、文化、教育施設は失くしてほしくない。特に利用が少ない図書室や公民館を減らすのなら、学校の図書室を充実させて代役になってほしい。アカデミックな土壌は残してほしいし、もっと発展させて良いのではないかな。 ・若者向け住宅をもっと建設して欲しい。 ・<u>町内に同じ目的の施設は１つで良い。旧町意識をなくし、中央に１つ砥用にも１つとかいう考えがムダではないか。</u>美里町に１つで良い。施設をなくしたら、始めのうちは不便だとか、遠くなったとか言う人がいるだろうが、人口は減少する一方なので、今後施設はいらなくなるのでどんどんなくしていってよい。 ・施設を減らすと交通の便が問題になると思う。 ・大至急町営住宅の建直しを希望する。 ・<u>小中学校等近隣にある場合、１つの体育館を共用したらどうか</u>（励徳小の場合は別）。現在各地域に公民館集会所等の設備が整っているようだが、その施設の使用料を少し低額にして使用するようにはどうか。 ・<u>保育園や小中学校は１箇所にあった方が良いか</u>と思う。町営住宅も数を増やしていただきたい。２～３階建てにすれば敷地が狭くてもたくさんの家族が利用できるかもしれない。 ・改修や更新するのにも、廃止するのにも基準を定めて、割り切って考えた方が良い。 ・１つ減らせば１つのサービスがどこかで低下すると思うが、しょうがないことだと思うので、住民にきちんとした説明を行い、納得して頂き、箱物を減らしてもらえればと思う。 ・図書室はなくさないでほしい。 ・今、子供たちが通っている中学校小学校のある場所を維持していくことこそ、町が成り立っていくと思う。子供たちにもどうするべきか聞くことも必要だと思う。

項 目	意 見
	- 施設統廃合に伴う送迎体制の整備が必要である。 - 利用度の高い(個人的には農村婦人の家)施設を残してほしい。 - 利用率が低い施設でも、利用する方がいる限り、できるだけ運営して頂きたい。 - 学校統廃合の話題が数年前から議論していますが、最低でも小中 1 校ずつは砥用・中央各地区に維持してもらいたい。 - 今後高齢化に伴い、利用頻度の低い施設を使ってリサイクルセンターを整備してほしい。家族村や屋内ゲートボール場の活用を検討すべき。公共施設を活用し、地震等災害で家に住めなくなった方等へ貸し出してはどうか(町内の方向けに、仮設住宅の代わりに。町外の方向けに、今後町内への移住を前提に特約付ける等して人口の増加にもつなげる)。防災公園のような施設を避難所の近く等利用しやすい所に整備してほしい。 若い人たちが多く利用するような施設を重点的に残してほしい。 - 中学校の統合は絶対反対である。中山間地がますます住みにくくなるのは悲しい事なので。 廃校や利用価値の少ない施設の改修を行い、年金に見合う受け皿として下益城管内にも養護老人ホームを設けるなどの活用を希望する。 - 人口が減少しているなかで、公共施設にお金を使わずして若い人が地元に残れるような事業に費用をかけるべき。このようなアンケートは大いに賛成だ。 - 高齢化に伴う老々介護をなくすため、年金で補えるような軽費老人ホームを増やしてほしい。
質 (安全 性・快適 性・機能強 化・魅力化)	【耐震化】 - 新建設や改修については、安全性や耐震性に重点を置くべきである。 - 施設の使いやすさとか、耐震性を考えていくべきである。施設の安全性が第一かと思う。もちろん利便性は大事ですが、災害時安心でき、頼りになる拠点であって欲しい。 - 耐震性のある施設が一番だと思う。いざという時に避難できないのはすごく不便だ。校区に 1 つは絶対に安心というところが欲しい。 災害があった場合避難場所となりうる体育館、運動公園、小学校中学校などを確保する。それには、安全性や耐震性のある建物を常に管理しておく必要がある。 - 今回の地震により比較的新しい施設である総合体育館と中央小体育館が避難所にもなりえなかったことは残念である。今後の計画に際しては、デザインなどより安全性を第一に考えてほしい。 - 小学校、中学校、体育館等を大雨の災害や地震等ですぐに避難できるように定期的に耐久性の調査、周りに危険物があったら(電柱等)移動させるか、撤去してもらいたいと思った。／この度の熊本地震において、美里町総合体育館が避難所として使用できず、また下の駐車場も使用できなかったことが残念でたまらない。安全性の高い、安心して避難できる公共施設を維持されることを切に要望する。 16 日、本震のあった午後の事、全員コミュニティセンターへと指示があったが、「耐震性がなくとりあえず運動場で待っていて下さい」と言われた。雨が降り出してしまったが次の指示があるまでそこで待っていた。やはり地区で耐震性のある建物を作って欲しい。 1 つの施設で多目的に使用できるようにし、老朽化した施設を少なくした分で、耐震性を高めて震災時に活用できるような施設になると良い。 【その他の意見】 量より質を高めてほしい。 - 老朽化の施設は取り壊して、維持できる施設数で安全性と清潔、快適さ大切にして行く方がいい。

項 目	意 見
	- 各施設について利用したくなる様な工夫が必要だと思う。 - 利便性については福祉送迎バス等の利用も考えてはどうか。改修を行う場合は、安全性、耐震性を考慮し、トイレの数や多目的トイレの有無、洗面所等考慮し、避難所として使用できる様な工夫もあると良いと思う。個人的には、公共施設はソーラー電気も使えて、木のぬくもりのある、光と風通しの良い建物が良いと思う。 - 今回の地震で使えない体育館などの早めの修理を行ってほしい。 - 子育てに適していることをアピールし、（医療費がかからない点、自然の中での子育てでできる、少人数で教育を受けられる点など）<u>公共住宅の充実をはかれば、町外から移住する人が増えるのではない</u>か。加えて、若い世代が外に出ていかなくなるのではないか。 - 雨の日に利用できる公園とかがあればいいと思う。 - どの年代に対しても使いやすさを求めるべきだ。 <u>従来の利用方法にとらわれず、図書館内にワーキングスペースや Wi-Fi 接続を整えるなど、多大な費用を用いなくてもできる改修で、新たな施設像を住民に提案してはどうか</u>（他の自治体ではすでに始まっている）。 - B&G 海洋センターには高齢者用のスポーツジム、畑、花壇、散歩しながら筋力アップできるコースを作って頂きたい。 - 施設そのものよりも、それに付随するベンチや雨よけなど、ちょっとした利用者への気遣いが感じられない場所が多いように思われる。 - 限界集落が進んでいるので、部落の公民館を多目的に利用できるよう整備してはどうか。 - 安全性や耐震性を持つ多目的に利用できる施設を充実させる。 - 子供がのびのびと体いっぱい遊べる施設があるといいと思う。 - 中山間地や高齢化といった町の背景の中で、安全性や耐震性の強化は最重要項目だと思う。 - 安全な公園を整備してほしい（草などの除去）。
利用方法・運営方法	- 学校施設をより使いやすくして、スポーツ施設を減らすか、利用料金を上げると良いと思う。 - 夜間使用であれば体育館（小中学校）等はまだ使用されていない時間、期間もずいぶんあると思う。スポーツ活動のためにもっと使うべきだと思う。夜間照明のある施設、体育館、グラウンドは部分照明にして、少人数対応または、グラウンドであれば全照明でなくてもできる活動種類に対応すれば、1 回の電気代も少なくてすむのではないか。 70～80代くらいの人達（主に女性）は、ほとんど運転できません。でも元気をもて余しています。「送り迎えがあればどこにでもいくのに」という声も聞く。 - ロードバイクのイベントや野外フェス、写真フォトイベント、これらをやれば人は来る。上手に公共施設を利用してほしい。 - B & G 海洋センターは屋内プールを改修してフォレストアドベンチャー・美里と連携して集客数を増やすべき。フォレストアドベンチャー・美里周辺に（家族村等）食事が出来る施設を作る。例えば、レストランや B.B.Q スペース等（農協等と連携して、食材、器具の貸与、炭等を予約販売）。 - 施設のネット予約ができれば、利用量も増えるのではないか。 - トレーニングジム 1 時間町外 220 円は他の施設よりも高い。 - 地域住民に公共施設を利用させ、認知症予防や健康の維持管理に活用できるように、指導すべきだと思う。 - フォレストアドベンチャー・美里がオープンしたが、入場利用料金が体験時間の割には高い。もう少し安いと行けるという声をたくさん聞く。また少しでも幼児向けのアドベンチャーもできればという意見もある。 - 他の町で葬式に参列した。普段そこは公共施設（集会場）だが、ある時は葬儀場、ある

項 目	意 見
	時は老人会の集まる場所、またある時は催場といったように、1 つの建物で数種類の事が出来るよう多目的に作られているのに驚いた。これからは多目的な機能を持たせて、お金のとれる施設運営が望ましい。
運用（コスト・管理・費用・譲渡など）	・ <u>利用度が低い施設は民間に売却し、その財源により計画的に改修を行っていくべき。</u> ・ <u>施設の運営は NP0 法人に委託</u>し、利用率の向上を図る。 ・ <u>（小学校・中学校）体育館、学校教育を優先とし明確に一般の方にも利用しやすく出来れば勤体等は不要</u>だと思う。町民体育祭など砥用中でも毎回可能だと思う。 ・ 郡市を超えて他の市町との施設の供用も考えてもらいたい。 ・ <u>指定管理施設の見直しを行うべき。</u> ・ 民間事業者のノウハウを利用し、住民のサービスに対応してほしい。指定管理者制度の充実を計る。 ・ 町の負担が減るように、施設利用料金を少し上げるとよい。施設は民間に任せること。 ・ <u>指定管理制度を利用して民間の活力や知恵を利用</u>することが望ましい。<u>指定管理に出した後は、施設の有効活用ができているか、また、町の財政削減につながっているか、などをチェック</u>し、町はある程度の指導、育成をしていくべきである。 ・ 公設民営ができれば町の財政にも良い効果があるのではないか。 ・ <u>総合体育館が直営に戻ったのは残念である。民間に任せられる部分は任せ、役場職員には職員にしかできない仕事に専念し、サービスの充実を図って頂きたい。</u> ・ <u>総合体育館のように学校との共有をできる施設運用がよい。</u> ・ 民間の資金や経営ノウハウを利用することも必要ではないか。施設の名称についても、企業名を入れるなどして資金を調達してみてもどうか。 ・ <u>利用の少ない施設に、一般事業者や企業を無償もしくは、低料金で誘致</u>し、美里町への観光者を増加させるような魅力的な商業施設、または、スペースを創造する。 ・ 公共施設の利用状況（日数・人数等の利用率）や公共施設の運営内容（設備・備品・目的等）を広報紙で公表する。公共施設の利用料金及び徴収方法の検討（各施設 100～300 円/回ではどうか。全施設共通の回数券、積み立てて維持補修の一部にあてるといったことも考えられる）。公共施設の積極的な利用の呼びかけ。 ・ 利用頻度の小さい施設は思い切って地域や民間業者等に売却する事を考えるべき。 ・ <u>廃止された施設等は民間等への貸出等も必要</u>ではないか。管理、運営費、人件費を含め見直しを行う必要があるのでは。民間のビジネス移住等も含め現状を考えると民間等の貸出しも視野に入れ、もう少し町の HP で利用等も募集を行ってはどうか美里町の HP も少しさびしすぎる。 ・ 存続の危機を町民へ強く訴え、<u>人件費、建設費を減らし地域住民で運営管理するようなシステムを構築</u>していくべき。 ・ 公共施設は PFI 方式の採用にて、設置は町が担当し、運営を民間へ委託するなどし、町は運営費を徴収するなどできないか。 ・ <u>文化施設、体育施設と使用を制限しなくいいようにし、文化施設での飲食販売を行うなど、一般の方が訪れやすい工夫</u>を求める。 ・ 空き家を利用した公共施設を検討する。ゲストハウスで観光客を集める。
その他（まちづくり、進め方、公共施設外の意見）	【PR 関連】 ・ もっと住民に対してアピールしていった方が関心をもって将来のことを考えてもらえると思う。 ・ 私は愛知県より移住してきて 6 年経つが、公共施設がどこにあるのか未だにわからない。 ・ <u>施設が何時まで開いているかなどを HP や広報誌などで分かりやすく情報をのせてほしい。</u> ・ 3333 段の石段や石橋など、他の県にないものがこの美里町にはある。その観光名所などの充実を行ないもっと PR する。

項 目	意 見
	・統廃合する前に利用方法や活用方法を町民や町外の人に知ってもらう（広告）も必要と思う。 ・今回の地震で、他市町に住む友人が、美里町で家を探してほしいと言われた。しかし、空き家情報やアパート、団地などの情報が少なくて困った。もっと人口を増やせるような受け皿や情報の発信をしてもいいと思う。 ・せっかくある施設は町民が知らないという意味がない。<u>もっと、場所や目的などをアピールする必要もある</u>のではないか。 ・どこに何があって何をしているのかさっぱりわからない。 【その他の意見】 ・熊本地震の時、励徳小学校の体育館が使用できないのは困った。 ・中央<u>公民館とコミュニティセンターや文化交流センター</u>どういった違いがあるのかわからない。 ・公共施設の見直しも大事ですが、集団墓地を考えていただきたい。県外者は墓を立てられない。 ・震災がありましたので、これを教訓に仮設住宅がすぐにできる用地を確保して準備しておく事や、空き家の情報（貸し出しできる）を町で把握しておく事が必要ではないか。 ・若者や老人が使用しやすく、生活しやすい様な多目的に使える公共施設を町に整備し、若者を就労させてはどうか。 ・美里町の公共施設を今まで以上に利用し、他の人にも広げていきたいと思う。 ・美里町も高齢化が進み、1ヶ所か2ヶ所にし、<u>交通の便利がいいところにすべき</u>。(車に乗れる人はいいですが)維持管理が高いときはすべきではないか。 ・施設ごとに必要か不必要かのアンケートをとるべき。無作為に抽出ではなく世帯ごとにやるべきである。 ・美里町の10年後考えたことはあるか。公共施設を利用する人がいないのではないか。 ・地震の時に思ったことだが、他市町は、地震情報などを屋外にいる人に向けて呼びかけていた。堅志田地区などにも聞こえていたが、美里町の町からの情報は、外にいたら（路駐泊などしていたときもあり）何も聞こえてこなかった。屋外にいる人にも連絡が行き届くような施設があればと思う。訃報情報を流すより非常事態の場合の連絡を的確に伝達する方法を考えてほしい。 ・他市の市民会館のように命名権を導入してみてもどうか。 ・現在テレビなどでも放映されている里山暮らしができるように、借家、空き家の管理。若者安住住宅には町内の者が多いように思われるので、もっと町外の移住希望者に機会を与えてはどうか。 ・日本一の石段もイベントは年1回ほど。年間で、かなりの人が石段を登っているが、入場料はどうか。せっかく他県の人に来てくれて、収入になるような利用ができればいいと思う。佐俣のロッジは数が限られていて、予約するのも大変という話も聞く。何もなくても自然の中でゆっくりできるのは、都会の人にとっては癒しになると思う。もっと美里町をアピールして、人を呼び込むことを考えては。 ・今は仕事で何も利用していないが、これから老いていく上では利用回数も増してくるだろう。その時、何もできないようなことがないようにしてほしい。 ・フォレストアドベンチャー・美里は必要だったのか。維持費がかなりかかりそうだと思う。 ・<u>「あると便利」ではなく「ないと困る」という基準で施設量を考えてほしい</u>。 ・各地区で高齢者のサロンなどがあるが、ひとつの地区だけでなく、複数地区合併して、お年寄りがたくさんふれあえるように送迎をするなどの工夫をして頂きたい。小さい子供たちも参加できるようなふれあいがあればいいなとも常々思う。

項 目	意 見
	• 現在、公共施設で仕事をしている職員の中に町外から来ている人がいるが、交通費を出して遠くから来てもらわなくても、地元の人を採用をするべき。 • 地震の時に、B&G 海洋センターが開放したのは地震が少し落ちついた後だったので、碇用中に避難者は殺到したと聞いた。そういう地震や災害の時には励徳小なども開放するべきではないか。 • アンケートも必要だろうが、問題を指摘するにはあまりにもテーマが大きすぎる。<u>アンケート結果をふまえて、住民の討議の場を設けてはどうか。</u> • 高齢者にとっては、公共施設への交通手段がないことが不便です。福祉バスの利用状況を検討してほしい。 • 駐車場などの確保ができ、いろいろな大会や会議、講演など、町外からの来客を多く出来るような施設、また住民が気軽に利用できるような場所、そういった美里町の新しい顔をつくってほしい。佐俣の湯周辺に旅館ホテル等があればと思う。 • 今回の地震を受けて家を建て直す場合は、町が指定した範囲内に建てた場合、補助金を出す等のコンパクトな町づくりを進めていくことが必要であるとともに、若い人が働く場づくりを進める等、総合的に考えていく必要がある。また、地域の歴史的な遺産等を活用するソフト事業を活性化することにより、美里町に住むことに誇りをもてるような社会教育、町づくりができると思う。 • 施設の耐災害性能は追及してもキリがない。むしろ災害時の対処方法をマニュアル化し、訓練で有事に備えるのが有効ではないか。ただし、施設の日常使用での安全性は、常に配慮すべき。